

うぐいすだより

美祢市立桃木小学校
学校だより
平成24年度第4号
7月1日

金子みすゞさんの優しいまなざしを大切に

学校の花壇では6月中旬に植えたサルビアの苗が、梅雨の雨の中でしっかりと伸びています。水泳指導が始まり、子ども達は温水プールや豊田前小学校プールで自分のめあてをもって水泳の学習をがんばっています。体力と気力を鍛える水泳で子ども達がさらにたくましく育ってほしいと思います。

先日、「金子みすゞ記念館」館長 矢崎 節夫氏のお話を聞くことができました。「こだまでしょうか」「犬」「積もった雪」「みんなを好きに」「こころ」「私と小鳥と鈴と」「星とたんぼぼ」「大漁」「土」等たくさんの詩を紹介されながら、金子みすゞさんが、自分中心ではなく共に生きるまなざしを大切に詩人だと教えられました。子どもに対しても、大人中心のまなざしよりも、こだまのように子どもの言葉に共感して同じ言葉が続ける中で子どもが気づくのを待つ大切さを話されました。「いたいよ。」「いたいね。いたいね。」「……」「なくのをやめようか」と昔は待っていたのに、最近は「いたくない、泣かない」と急ぎすぎた時代になっていないかと語られました。確かに、学校も家庭も子どもの目線よりも大人の思いを優先させることが多いのが現実です。みすゞさんの優しいまなざしのお話から、学校は子どもの目線を大切に、できないことができるようになる、学ぶ楽しさを味わうところだと再確認しました。

土

こつつん、こつつん、
打たれる土は、よい畑になって、よい麦生むよ。

朝から晩まで踏まれる土は
よい路になって、車をとおすよ。

打たれぬ土は、踏まれぬ土は 要らない土か。
いえいえ、それは、名のない草の、お宿をするよ。

金子みすゞ



賛助会へのご支援有り難
うございました！
本年度もたくさんのご支援を
いただきました。
子ども達のために、大切に使
わせていただきます。

夏休みにお気に入りの本をふやそう！

チャレンジ目標 お気に入りの本をふやそう

先日、U.M 先生の「お話の会」があり、子どもの心に響く本を紹介していただきました。もうすぐ夏休み！本の世界を楽しみ、心豊かな夏休みを過ごしてほしいです。子ども達のお気に入りの本カードを紹介します。

「クラゲゆらゆら」
そらにうかぶひこうせんのように、クラゲがおよぐおはなしです。いろいろなクラゲのしゃしがみれるのがたのしいです。
(T.R)

「がまんのケーキ」
こいたろうがケーキを食べるのをがまんできなくてたべちゃうおはなしです。こいたろうのくちが、ながくなるのがおもしろいです。
(H.Y)

「かいけつゾロリのきょうふ宝さがし」ゾロリが3まいのぞうきんとまいぞう金をまちがえたところがおもしろかったです。
(H.A)

「はらぺことのさま」
くいしんぼうのとのさまが月を見ながら「じい、あの月はうまそうじゃ。高い高いしろをたてて月を食べるのじゃ」といっておかしのしろをつくりはじめます。
(T.N)

「日本のふしぎ話」こわいお話があったり悲しいお話やおもしろいお話があったりしました。
(T.S)

「ファラオの呪い危機一ぱつ」駅前エジプト店に行くことになりました。そこにはファラオの呪いというものあり呪いがかかりそうになるのです。
(N.A)

「さいごのさいごのなかなおり」
霊界ホテルにブル船長とコーリ博士が来てきつねの支配人が二人を仲直りさせます。
(N.M)